

# 利用成果報告書

- 1 課題番号 R5-C27
- 2 報告者 程久美子 東京大学大学院理学系研究科
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 疾患原因遺伝子に対する特異的siRNAの開発
- 5 使用装置名 シングルセル分注システム (cullenONE)
- 6 利用期間 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日
- 7 利用成果・実績の概要 変異型遺伝子のみを特異的に抑制するsiRNAの作用機序を調べるため、シングルセル分注システムを用いて、RNA干渉あるいはRNAサイレンシング機構に寄与すると考えられる遺伝子のノックアウト細胞の作製をおこなった。
- 8 社会・経済への波及効果 遺伝子変異を識別可能なsiRNAの開発により、これまで医薬品開発が困難であった疾患の治療に適用できると期待される。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
Development of SNP-D-siKRAS which specifically represses KRAS gene with single nucleotide mutation (ポスター)	Yoshiaki Kobayashi, Yoshimasa Asano, Hiroaki Taniguchi, Kumiko Ui-Tei	第8回日本核酸医薬学会	R5.7.11-14	国内
Reducing Off-Target Effects of siRNA by Introducing 2'-Formamide Modification in the Seed Region (ポスター)	Seongjin An, Yoshiaki Kobayashi, Kohei Nomura, Yasuaki Kimura, Hiroshi Abe, Akase Dai, Misako Aida, Kumiko Ui-Tei	CSHL Asia, The Now and Future of RNA Therapeutics	R5.6.19-22	国内

- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し